

土地改良事業計画書

団体営金清坊地区 農業用排水施設整備事業
(基盤整備促進「農業用排水施設整備」事業)

目 次

第1章 目的	-----	1
第2章 地域及び地積	-----	2
第1節 地 域	-----	2
第2節 地 積	-----	2
第3章 現況	-----	3
第1節 気象及び海象	-----	3
1 一般気象	-----	3
2 特殊気象	-----	4
3 海象	-----	4
第2節 土地状況	-----	5
1 地形、土壌及び侵食の程度	-----	5
2 土地分類	-----	6
3 土地利用の状況	-----	6
4 土地所有の状況	-----	6
第3節 水利状況	-----	7
1 用水状況	-----	7
2 排水状況	-----	7
3 河川状況	-----	9
第4節 道路概況	-----	9
第5節 地域農業の概況	-----	9
第6節 地域環境の概況	-----	9
1 植物・動物等生態系の概況	-----	9
2 その他、地域環境の概況	-----	9
第4章 一般計画	-----	10
第1節 事業計画の要旨	-----	10
1 要旨	-----	10
2 事業別面積	-----	10

第2節	営農計画及び土地利用計画	-----	10
1	営農計画の概要	-----	10
2	土地利用区分	-----	11
3	作付方式	-----	11
4	生産計画	-----	11
5	労働改善計画	-----	11
6	級地別土地利用区分	-----	11
7	土地配分計画	-----	11
第3節	用水計画	-----	12
第4節	排水計画	-----	12
1	計画基準雨量	-----	12
2	計画排水方式	-----	12
3	計画排水系統	-----	12
4	計画排水量	-----	14
5	排水対策	-----	14
第5節	道路計画	-----	15
第6節	農用地造成計画	-----	15
第7節	洪水調節計画	-----	15
第8節	干拓計画	-----	15
第9節	農用地整備計画	-----	15
第10節	老朽ため池改修計画	-----	15
第5章	主要工事計画	-----	16
第1節	用水施設	-----	16
第2節	排水施設	-----	16
1	排水水門	-----	16
2	排水機	-----	16
3	排水路	-----	16
4	その他排水施設	-----	16
第3節	道路及び索道	-----	16
第4節	農用地造成	-----	16
第5節	洪水調節施設	-----	17
第6節	干拓施設	-----	17
第7節	農用地整備施設	-----	17
第8節	老朽ため池改修施設	-----	17
第6章	附帯工事計画	-----	18
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	-----	18

第8章	環境との調和への配慮	18
第9章	換地計画の概要	19
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	19
第2節	換地区の設定	19
第3節	換地計画樹立の基本方針	19
第4節	土地の評価及び清算の方法	19
第5節	換地計画樹立の年度計画	19
第6節	換地処分の特則	19
第10章	事業費の総額及び内訳	20
第11章	効用	21
第12章	関連する事業	21
第13章	現況・計画図面	22

第1章 目的

本地区は南魚沼市の南部を流れる一級河川登川の右岸に位置する中山間農業地帯である。

昭和43年から昭和54年にかけて県営ほ場整備事業塩沢（農地開発）地区で整備された本地区は、20～30a区画で造成されており、基幹作物である水稻栽培を中心に農業法人が意欲的な農業経営を展開している。

本事業における計画路線は一級河川登川の右岸に展開される農地を流れる排水路であり、改修区間上流側の現況断面はBF400型で排水路左岸側法面は道路兼用の河川堤防になっている。

排水路は流末が無く、窪地に排水を溜め浸透させている状態であり、豪雨時に排水不良が生じ隣接する河川堤防の道路法面の崩壊誘発や排水路に隣接する農地が湛水により被害が生じることも考えられることから、施設の改修により周辺施設への被災を防止するとともに維持管理作業の簡便化を図りたい。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
基盤整備促進事業	新潟県南魚沼市長崎（金清坊）

第2節 地積

(令和7年10月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
基盤整備促進事業	南魚沼市	2.6	3.6	—	—	—	6.2	
合計		2.6	3.6	—	—	—	6.2	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	塩沢観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	1991年～2020年	5月～8月	9月～4月		
平均気温 (°C)		21.0 °C	7.1 °C	11.7 °C	1991～2020年 水文統計資料 湯沢観測所
降水量	平均 (mm)	615.3 mm	1,650.8 mm	2,266.1 mm	1991～2020年 水文統計資料 湯沢観測所
	基準年 (mm)	338.9 mm	1,070.9 mm	1,409.8 mm	1951年 (県営かんがい排水事業 塩沢地区資料より)
降水日数	平均 (日)	59.1 日	151.7 日	210.8 日	水門統計14の塩沢降雨日数を年数で割り返し
	基準年(日)	59.0 日	125.0 日	184.0 日	1951年 (県営かんがい排水事業 塩沢地区資料より)
根雪期間		12月19日 ～ 4月12日		114 日間	県かん 塩沢地区資料より
無霜期間		4月12日 ～ 11月9日		210 日間	〃
最多風向		南東	最大風速 (風向)	14.9 m/s (南東)	最大風速発生年月日 2012年4月3日 最多風向発生時期 3～5月、8～12月 湯沢観測所

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	塩沢観測所															
観測期間	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	
1983年～2024年	量			量			量			量			量			
最大日雨量 (mm)	192.0	2011.7.30	1/100以上	187.5	2011.7.28	1/100以上	159.5	2011.7.29	1/100以上	157.5	2013.9.16	1/10以上	142.0	1998.9.16	1/5以上	気象庁HP 塩沢観測所
最大時間雨量 (mm)	89.5	2011.7.29	—	71.0	2011.7.29	—	64.5	2022.8.8	—	57.5	2022.8.6	—	57.5	2011.7.28	—	気象庁HP 塩沢観測所
最大4時間雨量 (mm)	165.5	2011.7.30	1/100以上	96.0	2013.9.16	1/15以上	95.0	2001.8.4	1/15以上	86.0	1998.9.16	1/15以上	83.0	2004.7.17 ～ 2004.7.18	1/15以上	水文統計資料 1976年～2024年
最大連続雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続干天日数 (日)	91	1984.2.16 ～ 1984.5.15	1/500以上	56	1985.7.22 ～ 1985.9.11	1/100以上	32	1960.5.20 ～ 1960.6.21	1/10以上	28	1994.7.3 ～ 1994.7.29	1/7以上	27	2023.7.22 ～ 2023.8.17	1/7以上	水文統計資料 1976年～2024年

3. 海象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

本地区の標高は、最高230m、最低210mとなっており、地形勾配は南部から北部へ平均1/40で下っている。

(1) 地形

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考
		1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
基盤 促進 整事 備業	面積 (ha)	—	—	—	2.6	—	2.6	3.6	—	—	—	—	3.6	230.0	210.0	
	比率 (%)	—	—	—	100	—	100	100	—	—	—	—	100			
合 計	面積 (ha)	—	—	—	2.6	—	2.6	3.6	—	—	—	—	3.6	230.0	210.0	
	比率 (%)	—	—	—	100	—	100	100	—	—	—	—	100			

(2) 土壌

土壌は「K93 壤土マンガン型」である。

(3) 侵食の程度

該当なし

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和7年10月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その 他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
基盤整備 促進事業	南魚沼市	2.6	3.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.2	
合計		2.6	3.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.2	

4. 土地所有の状況

(令和7年10月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有	その他	土地改良区有	国縣市町村有	計	備考
		面積 (ha)	6.2	—	—	—	6.2
基盤整備 促進事業	受益者数 (人)	61	—	—	—	61	
	筆数 (筆)	—	—	—	—	—	
	権利関係	—	—	—	—		
	備考 (関係戸数)	61	—	—	—	61	

第3節 水利状況

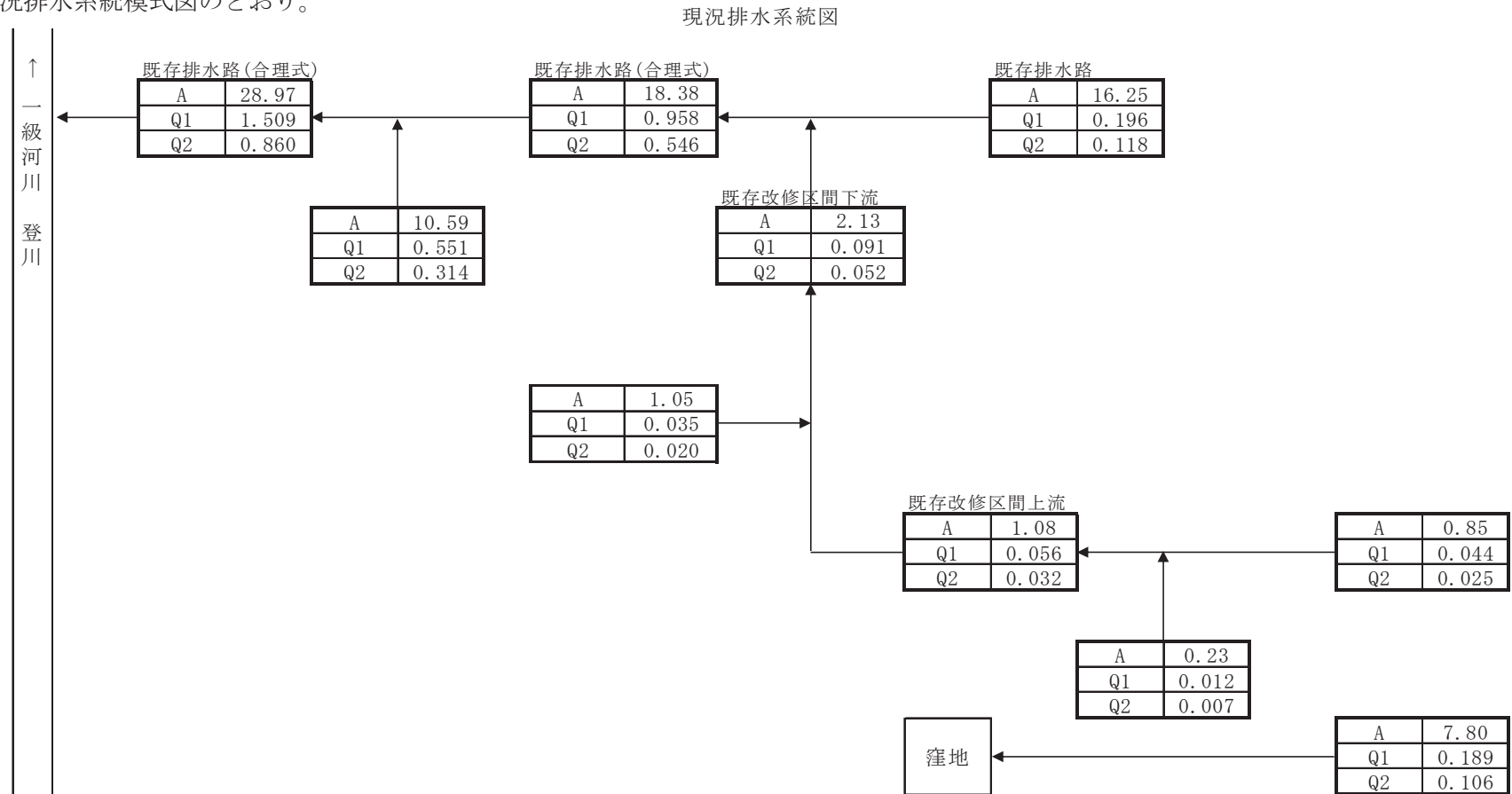
1. 用水状況

該当なし

2. 排水状況

(1) 排水系統

現況排水系統模式図のとおり。



(2) 排水施設
 (ア) 排水方法一覧

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考
			500ha以上		500～100ha		100ha未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
基盤整備促進事業	自然	排水路					1	28.97	1	28.97	1.509	1.509	
		地下浸透					1	7.80	1	7.80	0.189	0.189	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
合計						2	36.77	2	36.77	1.698	1.698		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年度 又は 更新年度	改修を必要とする理由	備考
地下浸透	1	6.2	窪地(地下浸透)	B5.0m×L5.0m×H2.0m	不明	排水不良			
水門									
機械	排水機								
	水門及び排水機								
	排水路及び排水機								
合計		1	6.2						

(3) 排水に関する被害状況
 該当なし

3. 河川状況

該当なし

第4節 道路概況

該当なし

第5節 地域農業の概況

該当なし

第6節 地域環境の概況

1. 植物・動物等生態系の概況

文献調査では、両生類（トノサマガエル、アカハライモリなど）、魚類（メダカ、ドジョウなど）、貝類（マルタニシ、モノアラガイなど）、昆虫類（ゲンゴロウ、コオイムシなど）が生息が確認されている。

2. その他、地域環境の概況

南魚沼市は新潟県南部に位置し、東側は群馬県、南側は湯沢町、西側は十日町市そして北側は魚沼市に接している。西側には魚沼丘陵があり、東側には「越後三山」と称される越後駒ヶ岳、中ノ岳および八海山などの山々が連なり自然豊かな地域である。

これらの東西の丘陵地と山系の間を南南西から北北東方向に魚野川が流下し、その流域には沖積平野が分布しており、地形環境に恵まれて、地域の特産品である「南魚沼産コシヒカリ」の主産地となっている。

地域は早くから高速道路や上越新幹線など交通体系が整備され、アクセス性の向上に伴い物流を始めとした地域間交流が盛んで本地区では、昭和43年から昭和54年に行った県営によるほ場整備事業により用排水分離となったが、本水路は当時のままの土水路であり1年を通して水量の切れることはなく、生物にとって生息しやすい環境と言える。

しかし、従来の農業用小水路や水田に生息していた水生動物・植物は減少傾向となっている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

昭和43年から昭和54年にかけて県営ほ場整備事業塩沢（農地開発）地区で整備された当地区は、20～30a区画で造成されており、基幹作物である水稻栽培を中心に農業法人が意欲的な農業経営を展開している。

排水路は流末が無く、窪地に排水を溜め浸透させている状態であり、豪雨時に排水不良が生じ隣接する河川堤防の道路法面の崩壊誘発や排水路に隣接する農地が湛水により被害が生じることも考えられることから、施設の改修により周辺施設への被災を防止するとともに維持管理作業の簡便化を図りたい。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	基盤整備促進事業					計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	小計 (ha)		
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
排水改良	2.6	3.6	-	-	6.2	6.2	
計	2.6	3.6	-	-	6.2	6.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

該当なし

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他の樹園地	小計	原野	山林	その他	合計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
基盤整備事業	現況	2.6	3.6	-	-	-	6.2	-	-	-	6.2	
	計画	2.6	3.6	-	-	-	6.2	-	-	-	6.2	
計	現況	2.6	3.6	-	-	-	6.2	-	-	-	6.2	
	計画	2.6	3.6	-	-	-	6.2	-	-	-	6.2	

3. 作付方式

該当なし

4. 生産計画

該当なし

5. 労働改善計画

該当なし

6. 級地別土地利用区分

該当なし

7. 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

観測所名：塩沢 1983年(昭和58年)～2024年(令和6年)

1/2確率年 70.6 mm/day

1/10確率年 115.8 mm/day

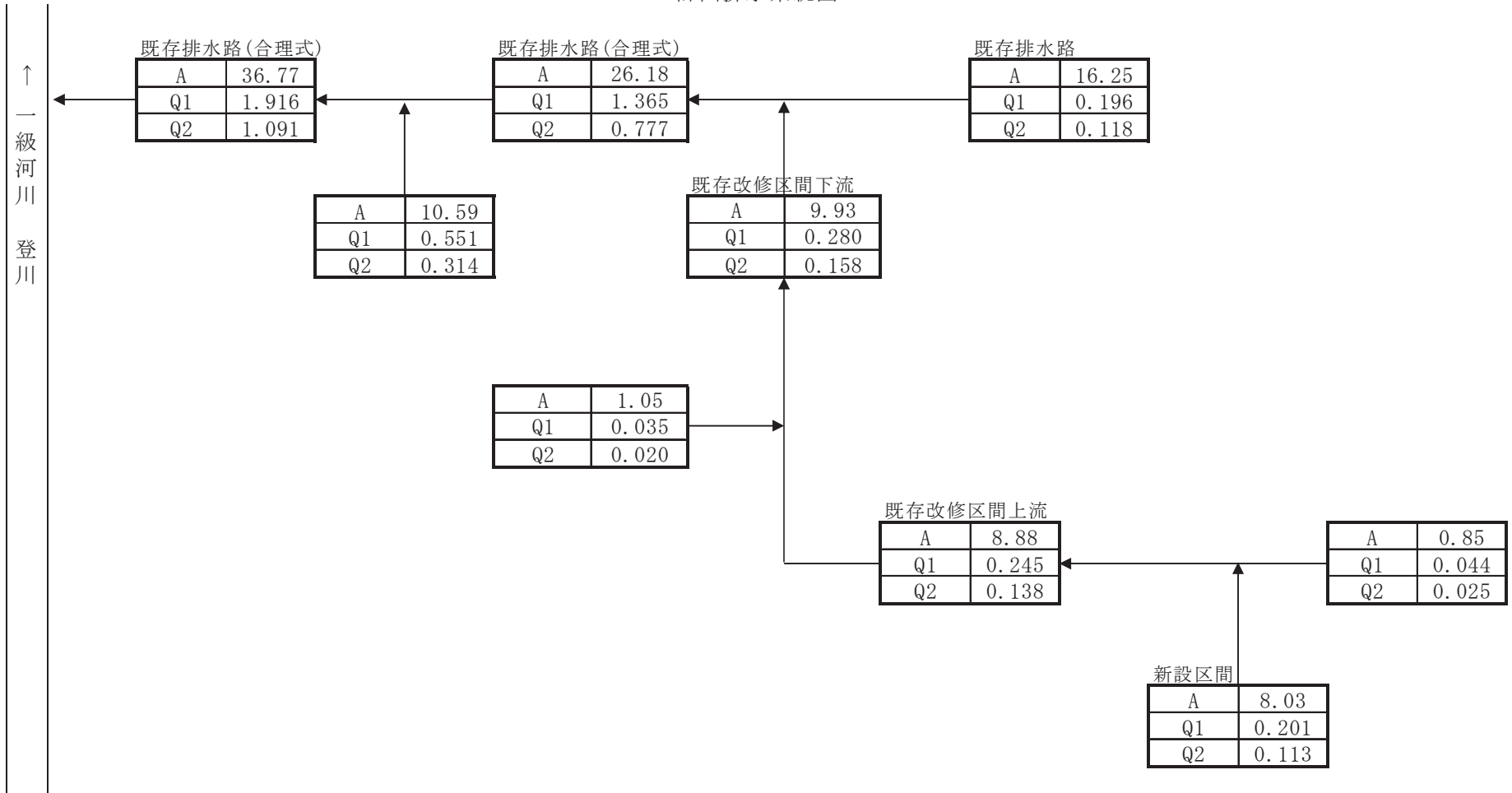
2. 計画排水方式

本地区の排水は、ほ場内排水路から一級河川登川へ自然排水される。

3. 計画排水系統

計画排水系統模式図のとおり。

計画排水系統図



4. 計画排水量

(第11表-1)

排水 系統名	受益面積(ha)			流域面積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量(m ³ /s)			単位排出量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事業名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
	基盤整備 促進事業		計									自然排水	機械排水			
金清坊	6.2	—	6.2	0.0678	0.0315	115.8	1.711	5.206	—	—	—	0.280	—	1.711	5.206	
計	6.2	—	6.2	0.0678	0.0315	—	—	—	—	—	—	0.280	—			

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		基盤整備 促進事業		計							
金清坊	0.0993	6.2	—	6.2	0.280	0.24	BFB500、 自由勾配側溝 500×1000～2000	一級河川 登川	—	—	
計	0.0993	6.2	—	6.2	0.280	0.24					

(4) その他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

2. 排水機

該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開きよ	トンネル その他	計				
	基盤整備 促進事業		計								
金清坊	6.2	—	6.2	0.280	0.24	—	0.24	BFB500、 自由勾配側溝 500×1000～2000	1/39.3 ～1/300	プレキャスト 集水柵	
計	6.2	—	6.2	0.280	0.24	—	0.24				

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期

着手予定	令和8年度
完了予定	令和10年度

第8章 環境と調和への配慮

工事中の周辺環境への粉塵の発生や、飛散防止と騒音等に配慮した工法、排出ガス対策型建設機械の採用及び濁水の流出を極力少なくするなど、地域環境への影響の軽減に努める。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

第2節 換地区の設定

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

該当なし

第4節 土地の評価及び清算の方法

該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

該当なし

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分	事業名	基盤整備促進事業 (千円)	備考
	主要工事	30,000	内地方事務費 ー 内工事雑費 ー
	附帯工事	ー	
	計	30,000	令和7年度単価

(単位：千円)

事業名等	区分	工事費				工事雑費				地方事務費			
		国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元
基盤整備促進事業	負担率	% 55.0	% 17.5	% ー	% 27.5	% ー	% ー	% ー	% ー	% ー	% ー	% ー	% ー
	負担金額	16,500	5,250	ー	8,250	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
合計	負担率	% 55.0	% 17.5	% ー	% 27.5	% ー	% ー	% ー	% ー	% ー	% ー	% ー	% ー
	負担金額	16,500	5,250	ー	8,250	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

第11章 効用

(第27表)

事業名等	項目 区分	年総効果（便益）額	年総増加農業所得額	備 考
基盤整備促進事業	作物生産効果	2,559 千円	- 千円	総費用（現在価値化）＝ 55,616 千円 総便益（現在価値化）＝ 73,480 千円 総費用総便益比＝ $\frac{73,480}{55,616} = 1.32$ 総所得償還率＝ $\frac{579}{14,527} \times 100 = 4.0\%$
	営農経費節減効果	1,487	-	
	維持管理費節減効果	△ 139	-	
	農業労働環境改善効果	-	-	
	地域用水効果	-	-	
	水源かん養効果	-	-	
	景観・環境保全効果	-	-	
	国産農産物安定供給効果	152	-	
	計	4,059	-	
全体	作物生産効果	2,559 千円	- 千円	
	営農経費節減効果	1,487	-	
	維持管理費節減効果	△ 139	-	
	農業労働環境改善効果	-	-	
	地域用水効果	-	-	
	水源かん養効果	-	-	
	景観・環境保全効果	-	-	
	国産農産物安定供給効果	152	-	
	計	4,059	-	

第12章 関連する事業

該当なし

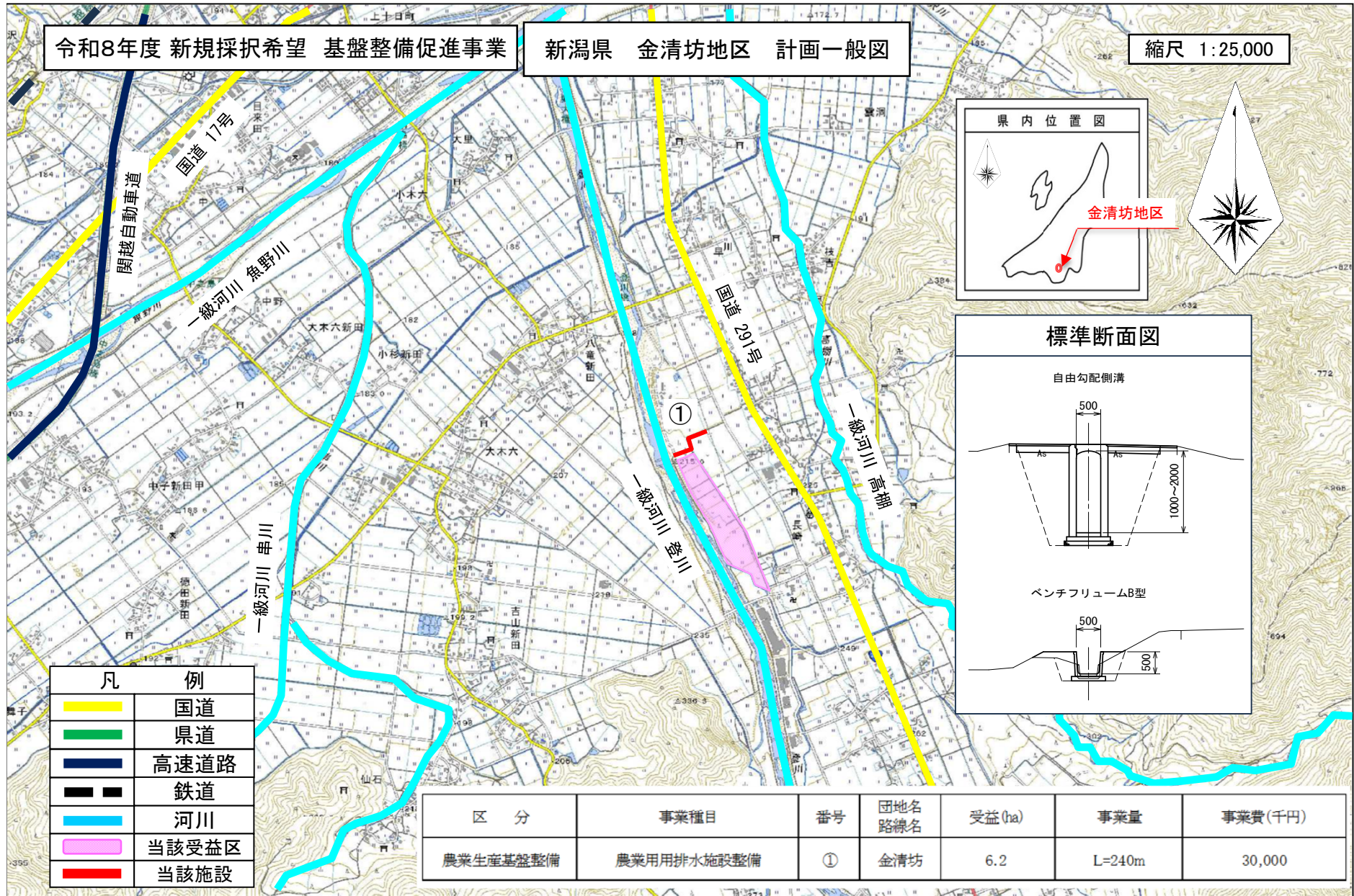
第13章 現況・計画図面

別紙 計画一般図のとおり

令和8年度 新規採択希望 基盤整備促進事業

新潟県 金清坊地区 計画一般図

縮尺 1:25,000



凡	例
	国道
	県道
	高速道路
	鉄道
	河川
	当該受益区
	当該施設

区分	事業種目	番号	団地名 路線名	受益(ha)	事業量	事業費(千円)
農業生産基盤整備	農業用排水施設整備	①	金清坊	6.2	L=240m	30,000